

# 令和2年度に向けた我が園の教育ビジョン

作成年月日：令和元年12月13日

伊丹市立せつよう幼稚園

(学級数 2学級、園児数 33人)

## 1 本年度の取り組み状況（11月末現在）

- (1) 教育目標達成に向けて共通理解を図る教師集団の組織力向上
- (2) 研究テーマ「自ら環境に関わり、遊び込む子どもの育成」に基づいた研究推進と教育活動の充実及び保育指導力の向上  
講師：鳴門教育大学大学院 教授 木下 光二 氏
- (3) 地域、保護者の教育力を生かした環境教育の充実
- (4) 地域の子育て支援センター的役割の推進

## 2 めざす幼稚園像

- (1) 幼児がいきいきと自分らしさを発揮し生活できる幼稚園
- (2) 園児、教師、保護者が互いに育ち合い、学び合える幼稚園
- (3) 家庭や地域から信頼される幼稚園

## 3 めざす子ども像

- (1) 自分で考え行動する子ども
- (2) 健康でのびのびと活動する子ども
- (3) みずみずしい感性をもつ子ども
- (4) 思いやりの心をもつ子ども
- (5) 仲間と共に伸びる子ども

## 4 めざす教師像

- (1) みずみずしい感性をもち、豊かな表現力をもつ教師
- (2) 人権感覚にすぐれている教師
- (3) 仲間と協調、協力し、広い視野をもって保育の創造に努める教師
- (4) めざす子ども像の実現に向けて、意欲的に研修を重ね、互いに向上させる教師
- (5) 保護者、地域、異校種との連携を積極的に図り、信頼される教師

## 5 我が園の特色

- (1) 四季が感じられ、豊かな自然に恵まれた環境を生かした保育の推進
  - ・身近な自然環境に心を動かし、見たり触れたりするなかで興味・関心を深め、「不思議」に感じたことを探求していく面白さを感じられる保育の展開
  - ・身近な自然に興味・関心をもつことから学びを深める環境学習の推進
  - ・伊丹市昆虫館の学芸員さんや保護者とともにを行う虫の観察会を実施
- (2) 広い芝生の園庭を生かした保育の充実
  - ・裸足になり、思い切り体を動かす保育の展開
- (3) 保護者、地域と連携を図りながら推進する子育て支援
  - ・『ちびっこ交流会』（未就園児親子との交流会）の開催
  - ・園庭開放の実施
  - ・シニアサロン（地域のシルバーサロン）の開催と交流
- (4) 異校種間の連携・交流の充実
  - ・幼稚園、小学校、中学校との学びの連続性（接続）を意識した連携・交流
  - ・保育所との交流を年間通じて計画・実施

## 6 我が園の研究概要

研究テーマ「自ら環境に関わり、遊び込む子どもの育成」

—試行錯誤を繰り返す遊びを生み出す環境の構成と教師の援助—

講師：鳴門教育大学大学院 教員養成特別コース 教授 木下 光二 氏

## 7 学力向上に向けた取り組み

- (1) あらゆる環境に関わり興味・関心を深め、遊びを展開するなかで「不思議」を感じたことを探求していく面白さを感じられるための環境の構成と教師の援助。
- (2) 自ら環境に関わり、好奇心・探求心をもって遊びを創造していく保育実践を通して、学び（学習）への意欲を育む。
- (3) 幼児の自発的な遊びから試行錯誤を繰り返すことができるような環境の構成と教師の援助。
- (4) 遊びを通じた学び（幼児期）を自覚的な学び（児童期）へとつなげる環境づくり（ドキュメンテーションの活用）
- (5) 思考力を育む教師の発問に努めるとともに、幼児自ら問題（課題）解決に取り組もうとする保育の展開
- (6) 発達過程に応じた保育活動の展開（ペア活動、異年齢児活動、グループ活動 等）
- (7) 豊かな感性や想像力を育む絵本の読み聞かせの充実と表現活動の充実。

## 8 教職員の勤務時間の適正化に向けた取り組み

- (1) 職員会議のスマート化を図る。
  - ・事前に協議内容を配付し、それぞれが目を通しておく等の工夫
  - ・具体的に示した園務日程表の活用
  - ・内容によって回覧等での共通理解を図る
- (2) 週1回の定時退勤日とノー会議デーを実施する。
- (3) 年次有給休暇の取得促進（年間10日以上）

## 9 今後に向けて

- 1 3年保育実施に伴い、カリキュラムマネジメントを推進する。教育課程の編成をはじめあらゆる教育活動について計画・実施・検証・改善に努める。
- 2 幼児が自ら環境に関わり「不思議だな」「どうなっているんだろう」という思いや疑問を抱いたことを支え、試行錯誤を繰り返し学びに向かう意欲を育む環境の構成や教師の援助に努め、保育実践を重ねる。
- 3 平成29年12月に作成した『試行錯誤を繰り返す遊び（年間カリキュラム）』に基づき保育を実践・展開しながら、試行錯誤を通して幼児に育まれる学びや育ちは何か、幼児の学びを深めるための環境の構成はどうかなどの検証を継続する。
- 4 幼児期の学びが小学校以降の生活や学習の基盤となることや、連続した学びを保障していく必要があることから、小学校との円滑な接続を図るための連携推進を強化する。また、中学校との連携・交流を通してキャリア教育の充実に努める。
- 5 保護者、地域から信頼され開かれた幼稚園をめざし、地域の子育て支援センター的役割の機能を充実させる。
- 6 預かり保育の実施に伴い、保護者ニーズを把握するとともに、保護者支援に努める。
- 7 伊丹市幼児教育施設の再編に伴う拠点園としての役割（特別支援教育・研究推進・幼小接続等）を推進・充実させる。

伊丹市立せつよう幼稚園 園長 松山 和久

我が園のHPのアドレスは・・・ [http://www.k\\_setuyo.itami.ed.jp/](http://www.k_setuyo.itami.ed.jp/)